

総合特別区域の進捗に係る評価（検討会への報告案）  
〔農林水産業分野〕

令和3年度

競争力と持続力を持つ交流6次化モデルの構築特区

〔指定：平成24年7月、認定：平成30年3月〕

I 目標に向けた取組の進捗に関する評価

i) + ii) の平均値  $(3.8+3.3)/2=3.6$

3.6

i) 取組の進捗

目標値に対する実績に基づく進捗度(当年度実績)

番号	評価指標	進捗度	評点
1	耕作放棄地面積	83%	4
2	農業従事者	101%	5
4	農業所得	101%	5
5	市人口社会増減数	480%	5
6	観光入込客数	65%	3
7	地域資源を活用する民間企業の参入数	33%	1

評価指標毎の進捗の評価の平均値  $(5 \times 3 + 4 \times 1 + 3 \times 1 + 2 \times 0 + 1 \times 1) / 6 = 3.8$

3.8

※1) 1つの評価指標に複数の数値目標がある場合は、各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均する。  
(例) 評価指標1について、a、b、cという3つの数値目標があり、各数値目標の評点・寄与度がa:5・20%、b:4・10%、c:3・70%の場合、 $5 \times 0.2 + 4 \times 0.1 + 3 \times 0.7 = 3.5$ で、四捨五入して評価指標1の評価は「4」となる。

※2) 数値目標○は複数の数値目標があり、※1のとおり各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均しているため、進捗度と評点が一致しない。

■ 地方公共団体による特記事項

※外部要因による数値への大幅な影響等があれば記載

ii) 取組の方向性に対する評価

専門家による評価の平均値

3.3

II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況に関する評価

i)、ii)、iii) の平均値  $(2+3+3.5)/3=2.8$

2.8

i) 規制の特例措置を活用した事業等の評価

専門家による評価の平均値

2.0

ii) 財政・税制・金融支援の活用実績の評価

専門家による評価の平均値

3.0

iii) 地域独自の取組の状況の評価

専門家による評価の平均値

3.5

### Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決に関する評価

(専門家所見(主なもの))

3.5

- ・「耕作放棄地面積」は増加傾向にあり、耕作放棄抑止の対策が必要である。ただし、総量が多いので、やはり耕作放棄地をカテゴライズし、復旧の必要性の有無や緊急性などを峻別した上で対策をとることが必要と思われる。
- ・農業従事者が増加に転じているのは高く評価ができるが、これは就農者の増加(7名)以外の人数が多し。その要因について、今後、分析する必要であろう。
- ・農業産出額と農業所得が大きく伸びているが、その要因についての分析を行う必要がある。それを行うことで今後も農業が成長する余地がどれくらいあるのか、そのために求められる支援は何かを明らかにすることができるのではないかと考える。
- ・「市人口社会増減人数」については、社会減を徐々に減らす目標を立てているのに対し、既に社会増を実現し、しかも年々増加傾向にあり、その傾向は顕著である。評価書中には、県内移動によるものとネガティブな評価になっているが、若者の進学による県外移動→その後の県内就職→婚姻の際に子育て環境のよさを求めて県内から移動、といった流れであれば、むしろ望ましい動向とも言える。世代や家族形態なども踏まえたより深い分析が必要ではないか。
- ・新型コロナによる経済の縮小は一時的な外生的なショックで、これからは正念場となるだろう。農や食を含めた地域資源を自分に利用することを考えてこれから運用される南アルプス市らしい6次化モデルに期待したい。

専門家による評価(専門家の総合的な所見)の平均値

3.5

### 総合評価

I、II及びIIIを1:1:2の比率で計算  $(3.6+2.8+3.5 \times 2) \div 4 = 3.4$

3.4

(注)評価に係る評点及び表記の考え方については以下のとおり。

- ・評価は5～1(評点)で行う。
- ・進捗度は、100%以上を5、80%以上100%未満を4、60%以上80%未満を3、40%以上60%未満を2、40%未満を1とする。
- ・進捗度以外の評価項目における評点は、5:著しく優れている、4:十分に優れている、3:適当である、2:適当であると認められるには不十分である、1:適当であると認められないとする。